

「ふしぎなポケット」について

ふしぎなポケット 詩・みちお 作評
渡辺 茂 作曲

ふつり速さ強さで

1 ポケットの なかには ビスケットが ふたつ
2 もひとつ たたくと ビスケットは みっつ

そーんが ふしぎな ポケットが ほしい

ポケットを たたくと ビスケットは ふたつ
たたいて みるたが ビスケットは ふえろ
そーんが ふしぎな ポケットが ほしい

「ふしぎなポケット」の楽譜（渡辺茂氏 直筆）

小野 ええ。ふしぎなポケットではありませんが、ふしぎなご縁で。日本児童文学者協会の文学賞の贈呈式のときのことです。来賓として挨拶させていただいたんですが、そのおり詩人の尾上尚子さんとお会いして、尾上さんがまど・みちおさんのことをよくご存知でしたので、ご紹介いただきました。

安尾 まど・みちおさんにはどのような印象をお受けになりましたか。

小野 まどさんと尾上さんと私の3人で食事をしながらお話ししたんですが、まどさんのお話がおもしろいので笑いっぱなしでした。まどさんが、詩をつくるときの想いについては、本を読んで知っていましたが、ご本人から直接うかがって強い印象を受けました。心にまた新しい灯がともったような、あたたかい気持ちになりました。

福田 渡辺先生は、この歌で工夫された点はそんなところでしょうか。

渡辺 「ふしぎなポケット」では、ワンフレーズの前半をへ長調の「ドミソ」の和音の分散で構成して、後半はメロディーをなぞったんです。その対比のおもしろさが全面に出るように作曲したんです。「ドドドミ ソソソ ドドドミ ソソソ」ときて、「ファファファレ ミミミド レレレシ ドドド」とやったのでは、おもしろくも何ともない。分散の和音が、ぜんぶになってしまいます。

小野 この歌においては、アクセントの問題はありましたか？

渡辺 2番の歌詞の「ふえる」は、本当は「ふえる」のようにしたかったんです。「ふえる」と3番の歌詞の「ほしい」はアクセントの位置が同じです。ところがそうすると、1番の歌詞が「ふたつ」になって困るわけです。ですから同じ音にしたんです。

小野 「ふたつ」にあわせたんですよね。

渡辺 そうですね、この歌では「ふたつ」をいかしたかったから。

福田 「ふしぎなポケット」は、まど・みちおさんの詩ですね。まどさんは、「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」などの童謡でも有名ですが、まどさんとは、どのようにしてお知り合いになられたんですか。

渡辺 NHKが仲介の労をとってくれまして、何回か会っているうちに、「じゃあ、これどうだ」みたいな調子で、作曲したと思います。

安尾 小野先生もまど・みちおさんにお会いになりましたね。